

競技上のご注意とお知らせ

<<ロゲイニング競技規則>>

●コース上のチェックポイントを指定された時間内に見つけることにより得点が与えられる。得点はチェックポイントへの到達の難易度により異なる。チェックポイントは任意の順番にまわることができる。より多くの得点を獲得したチーム、もしくは同点の場合にはより早くフィニッシュしたチームが上位となる。

※「コース」とは、ロゲイニング競技時間中にチームで移動する場所全てを指す。ただし、主催者により指定された競技外地区やアクセス道路を除く。

●コース上に持ち込むことのできるナビゲーション用具は、競技地図、方位磁石および時計である。本大会ではこれら以外のナビゲーション用具としてGPS受信機、万歩計、高度計をコース上に持ち込むことを許可する。競技地図に示される情報以外の追加情報のある地図の持ち込みは許可しない。

●競技中、各参加者は常に下記の3つの装備品を携帯（**必携品**）しなければならない。

①ホイッスル、②熊鈴、③参加同意書に電話番号を記載した携帯電話（チームで最低1台）

●参加者は自力で移動しなければならない。動力の付いた移動手段や、自転車、カヌー、馬などを利用した移動は許可しない。

●コース上では、チームの構成員は、互いに声の聞こえる範囲内で行動しなければならない。この点について主催者あるいは他チームから確認された場合には実証しなければならない。

●チームは他人から助力、協力を受けてはならない。また、故意に他チームに続いてはならない。

●チームで使用する目的で、競技前にコース上に食料や用具を置いてはならない。また、競技中に全ての食料や用具をコース上で捨ててはならない。

●主催者は、コース上に給水所、給食所などは設けない。本大会では参加者はコース上にある公衆用の販売（売店、自動販売機など）は利用をしても良い。ただしゴミは捨ててはならない。

●参加者は、故意にチェックポイントなど主催者によってコースに設置された設備に危害を加えてはならない。

●各チェックポイントの通過証明はEMIT社製Ecardを使用する。競技中にEcardを紛失した場合は失格となる。

●参加者が棄権を希望する場合には、チーム構成員全員でスタート地区に戻り、主催者にその旨を報告すること。棄権選手が出たチームは、その時点で競技終了となる。

●遭難信号を聞いたチームは、競技を中断し、必ず救助活動を行わなければならない。これらの救助活動中に発生する競技規則違反は罰則としてチームに課せられない。

●参加者は農地や植林地、主催者により指定された立入禁止区域を横断してはならない。本大会では競技地図に記載された道路、道、小道、小径以外は通行してはならない。競技中は交通規則を遵守しなければならない。

●競技者はゴミを捨ててはならない。

●競技者は競技会場で火を扱ってはならない。

●競技者はコース上でタバコを吸ってはならない。

●競技者は植物あるいは動物の生態系を過度に破損・妨害してはならない。

<<トレイルランニング競技規則>>

●主催者によって定められた山岳コースにて、個人単位のタイムレース方式とする。所要時間の短い者が上位となる。

●クラス毎にフィニッシュ閉鎖を設ける。また70kmクラス・50kmクラス・30kmクラスには関門を設ける。選手はフィニッシュおよび関門を制限時間内に通過しなければならない。制限時間内に通過できなかった選手は**失格（途中棄権）**となり、係員の指示に従わなければならない。

●競技中、各選手は常に下記の装備品を携帯（**必携品**）しなければならない。

①Ecard（電子計測器、スタート前チェックで渡します）、②ホイッスル、③熊鈴、

④参加同意書に電話番号を記載した携帯電話、⑤1リットル以上の水分、

⑥防寒具（長袖で防風性のあるもの）、⑦ライト（予備電池は推奨）、

⑧コースが記載された地図（70km、50km、30kmクラスは配布物に含まれています）

※各クラスの必携品は以下の表に示す。(●が必携品)

	①Ecard	②ホイッスル	③熊鈴	④携帯電話	⑤水分	⑥防寒具	⑦ライト	⑧地図
70km	●	●	●	●	●	●	●	●
50km	●	●	●	●	●	●	●	●
30km	●	●	●	●	●	●	●	●
16km	●	●	●					
6km	●							
キッズ	●							

- スタート前チェックまたはフィニッシュにて抜き打ちで**必携品の確認**を行う。係員から提示を求められた場合は速やかに従わなければならない(フィニッシュは水分を除く)。**必携品**に不備がある場合は**失格**となる。
- ストック(ポール)や杖の使用を許可する。ただしスタートから200m地点までは使用を禁止する。その間は必ずザックに装着することとし、手に持って走ることも許可しない。
- 主催者は救護所に給水所を設ける。その他の場所には給水所、給食所などは準備しない。
- 競技中に使用する目的で、競技前にコース上に食料や用具を置いてはならない。また、競技中に全ての食料や用具をコース上で捨ててはならない。
- 選手は、主催者によって指定されたコースに従って走行しなければならない。コースは赤白のストリーマーおよび、方向指示看板によって表示されている。スキー場のコース内は指定が無い場所ではコース幅の何処を走行しても構わない。ただし主催者側が競技運営上のチェックとして制限を設けている場合は、それに従わなければならない。
- タイム計時の方法はEMIT社製Ecardを使用する。また各コースの通過証明もEcardで行う。**タイムの計測および各チェックポイントの通過確認は選手の自己責任で行う**。Ecardでタイムおよび通過確認ができない場合は失格となることもある。なお競技中にEcardを紛失した場合も失格となる。

クラス	通過確認の為にチェックポイント数
70km	18カ所
50km	14カ所
30km	10カ所
16km	5カ所
6km	2カ所
キッズ	2カ所

- 選手が棄権を希望する場合には、近くの係員にその旨を報告し、Ecardを提出すること。
- 遭難信号を聞いた者は、競技を中断し、必ず救助活動を行わなければならない。これらの救助活動中に発生する競技規則違反は罰則として課せられない。
- 競技者はゴミを捨ててはならない。
- 競技者は競技会場で火を扱ってはならない。
- 競技者はコース上でタバコを吸ってはならない。
- 競技者は植物あるいは動物の生態系を過度に破損・妨害してはならない。

<<その他>>

- ・上記の競技規則に違反した者や、係員の指示に従わなかった者は失格となります。
- ・競技上における変更事項は受付横の公式掲示板にてお知らせいたします。
- ・参加者が自分自身・あるいは第三者に与えた損害・損失等について、主催者は一切その責任を負いません。
- ・本大会参加者には傷害保険を付保しております。ただし、少額ですのでご自身でも保険準備と健康保険証の持参をおすすめします。
- ・本大会は最小限の人数で運営しますので、参加者の皆様も円滑に運営進行するようご協力をお願いします。
- ・ゴミは必ず持ち帰ってください。

計測機器（EMIT 社製 Ecard）について



～EMIT 社製 Ecard（イカード）～

トレイルランニング（各自1つ）

ロゲイニング（1チーム1つ）

持ち方のオススメは、左右どちらかの薬指にバンドをかけ、手のひらの中に握りこむと、持ち替えること無くなる。

基本的にバックアップラベル（Ecardの裏面に付いている専用紙）に通過記録が残るように反応をさせること。



～コントロールユニット～

～コントロールフラッグ～

●トレイルランニングで使用。

コース中のチェックポイントに設置。

基本的に Ecard に通過記録データがないと、失格となる。ただし Ecard が故障した場合のみ、バックアップラベルで救済を行う。バックアップラベルにも通過記録が無い場合は失格となる。

●ロゲイニングで使用。

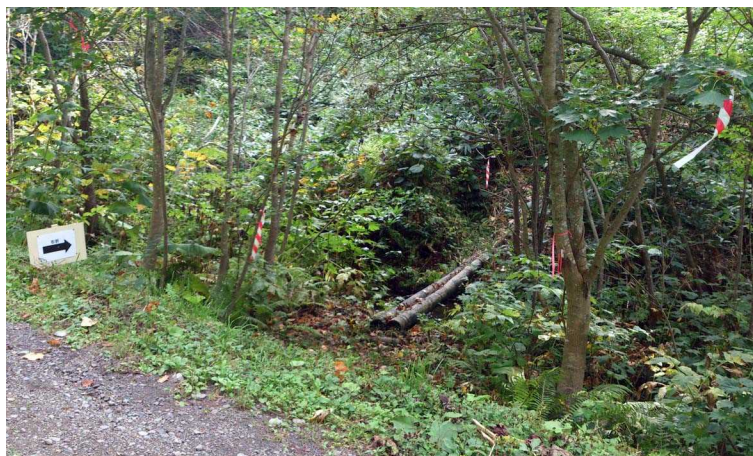
各コントロール（チェックポイント）に必ず設置されている。

基本的に Ecard にパンチの記録が残らないと得点にならない。ただし Ecard が故障した場合のみ、バックアップラベルで救済を行う。バックアップラベルにも通過記録が無い場合は得点にならない。



※スタート前チェック周辺に見本がありますので必ず確認をしてください。

- トレイルランニングにおいて、走行しなければならないコースを示す、赤白のストリーマーおよび方向指示看板の一例です。



ロゲイニング・コースプロフィール (コース設定者 信原 靖)

ロゲイニングのトレインは、羊蹄山と洞爺湖を結んだほぼ中間付近の留寿都村の丘陵地帯です。今回で6度目の開催となり、各チェックポイントは容易な設定ですが、前回よりもさらに広範囲でプランを重要視する設定になっています。是非、北海道の景色と広さを楽しんでください。

トレイルランニング・コースプロフィール (コース監修 横山 峰弘)

本大会の競技エリアは主にスキー場、牧草地、林道（一般道を含む）から構成されており、コース幅が広く追い抜きが容易なコースのためスピーディーなレース展開が予想されます。

●70kmクラスのコースレイアウトは、ルスツリゾート園内をスタート・フィニッシュとし、ウエスト山頂から裏側に抜け、舗装道路3.6kmを経て尻別岳の喜茂別コースにアクセスします。尻別岳の山頂を経由し、またルスツリゾート敷地内に戻ります。その後は50kmクラスと共通区間として、国道230号線をトンネルでくぐり、ゴルフコースとイースト・イゾラ山麓を抜けて、さらに奥まで走り抜けます。途中、新しく追加された林道部分を抜け、裏側からイゾラ山頂を登ります。イゾラを一度下山後、今度は30kmクラスと共通区間になり、再度イゾラ山麓を横に移動後、イゾラ山頂を登ります。イゾラを二度目の下山後は、恒例のイースト山頂を通過してからフィニッシュに向かいます。

●50kmクラスのコースレイアウトは、ルスツリゾート園内をスタート・フィニッシュとし、ウエスト山頂に一度登り、その後国道230号線をトンネルでくぐり、ゴルフコースとイースト・イゾラ山麓を抜けて、さらに奥まで走り抜けます。途中、新しく追加された林道部分を抜け、裏側からイゾラ山頂を登ります。イゾラ下山後、再度、山麓を横に移動、50kmクラスのみ設定区間を通過して、イゾラ中腹まで登ってから、再度下山します。その後は恒例のイースト山頂を通過してからフィニッシュに向かいます。

●30kmクラスのコースレイアウトは、ルスツリゾート園内をスタート・フィニッシュとし、ウエスト山頂に一度登り、その後国道230号線をトンネルでくぐり、ゴルフコースとイースト・イゾラ山麓を抜けます。その後、イゾラ山頂とイースト山頂を順に通過してフィニッシュに向かいます。

●16kmクラスのコースレイアウトは、ルスツリゾート園内をスタート・フィニッシュとし、ウエスト山頂を一度登り、その後国道をトンネルでくぐり、ゴルフコースを通り抜け、イースト山頂を目指します。

●6kmクラスのコースレイアウトは、ウエストMt山頂を目指します。

●キッズクラスのコースレイアウトは、ウエストMtスキー場の中腹まで登るコースです。

広々とした景色、北海道ならではの雰囲気、小川を飛び越え、自然を体中で感じるでしょう。またルスツリゾートならではの線路やトンネルなど、変化に富んだアップダウンのあるコースをおもいきり楽しんでください。

クラス	距離	累積標高	アップ率	舗装	シングルトラック
70km	70.4km	4,080m	5.80%	8.1km	16.5km
50km	51.4km	2,880m	5.60%	4.5km	10.6km
30km	31.6km	1,930m	6.11%	4.5km	1.8km
16km	16.4km	880m	5.37%	4.5km	0.2km
6km	6.0km	270m	4.50%	0.7km	0.2km
キッズ	3.6km	130m	3.61%	0.7km	0.0km